

目次

●巻頭言	ロウテクノロジーのすすめ	木村 孟	1
建設機械の生産・輸出入の動向		諸岡 秀行	3
板状ドレーン材打設専用船	「GOD-No. 1」による施工とその実績	神保 信雄 齋藤 健	9
高能率揚土船の実証実験		平山 勇	15
アスファルトフィニッシャの高度化の方向		高野 漢	20
レーザ式路面横断形状測定装置	(レーザプロファイラ LP-200) の開発	北爪 正弘 野木 廣	25

グラビヤ——羽田空港沖合展開工事

小型路上表層再生機の開発	ミニヒータおよびミニリペーパ	後藤 文生 石井 明夫 内山 伸一郎	29
共振式舗装破砕機 PB-4 とその施工例		山辺 生雅 大宮 和貴	34
●随想 「神や仏」考		三宅 淳達	40
●昭和 61 年度官公庁・建設業界で採用した新機種			
建設省		伊藤 豪誠 中井 登	42
運輸省		藤本 健幸	48
昭和 61 年の建設機械新機種とその傾向		杉山 庸夫	50
昭和 62 年度建設機械損料の改定		齋藤 文夫	56

●新工法紹介

瞬結吹付工法/低粉塵吹付工法/トンネル 無発破工法	調査部会	60
------------------------------	------	----

●新機種ニュース	調査部会	63
----------	------	----

●文献調査

文献目録紹介	文献調査委員会	68
--------	---------	----

●ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格 (23)-1	I S O 部会	72
------------------------	----------	----

●整備技術

新しい診断・再生技術 (第 6 回) エンジンオイルの管理	整備部会	75
----------------------------------	------	----

●統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	78
--------------------	------	----

行事一覧		79
------	--	----

編集後記	(藤本・下田)	82
------	---------	----

◀表紙写真説明▶

油圧ショベル KOBELCO-YUTANI

SK 07-NEW マーク II

株式会社 神戸製鋼所

本機は人間尊重をテーマに開発し、特に安全性の向上、作業性の向上、メカトロ技術の導入等を付加した最新の中型油圧ショベルである。

世界で初めて旋回フラッシュとセイフティバンプを標準装備し、周囲安全に配慮するとともに超広角視界のキャブ、無段階調整と乗降遮断式操作ロック機能付ワンタッチチルトレバー、手なれたレバー操作方式に即変更可能なロータリーマルチコントロール(オプション)など数々の安全システムを随所に採用している。またエンジントルクとポンプ吸収トルクを常に最適にして、エンジン馬力の有効活用をはかった ESS システムなど、マイクロコンピュータを使った各機能の総括的システム ITCS (インディジェント・トータル・コントロール・システム) の採用、高性能 2 速モータと走行昇圧システムにより世界最高の走り 5.5 km/hr を実現したなど使いやすさを徹底的に追求している。

◀主な仕様▶

全装備重量	18,500 kg
標準バケット容量	0.7 m ³
進行速度	5.5 km/hr
最大掘削力	11 t (アタッチ昇圧時 12.7 t)
最大掘削半径	9,850 mm
最大掘削深さ	6,620 mm
騒音値	72 dB(A)/30 m 62 dB(A)/室内